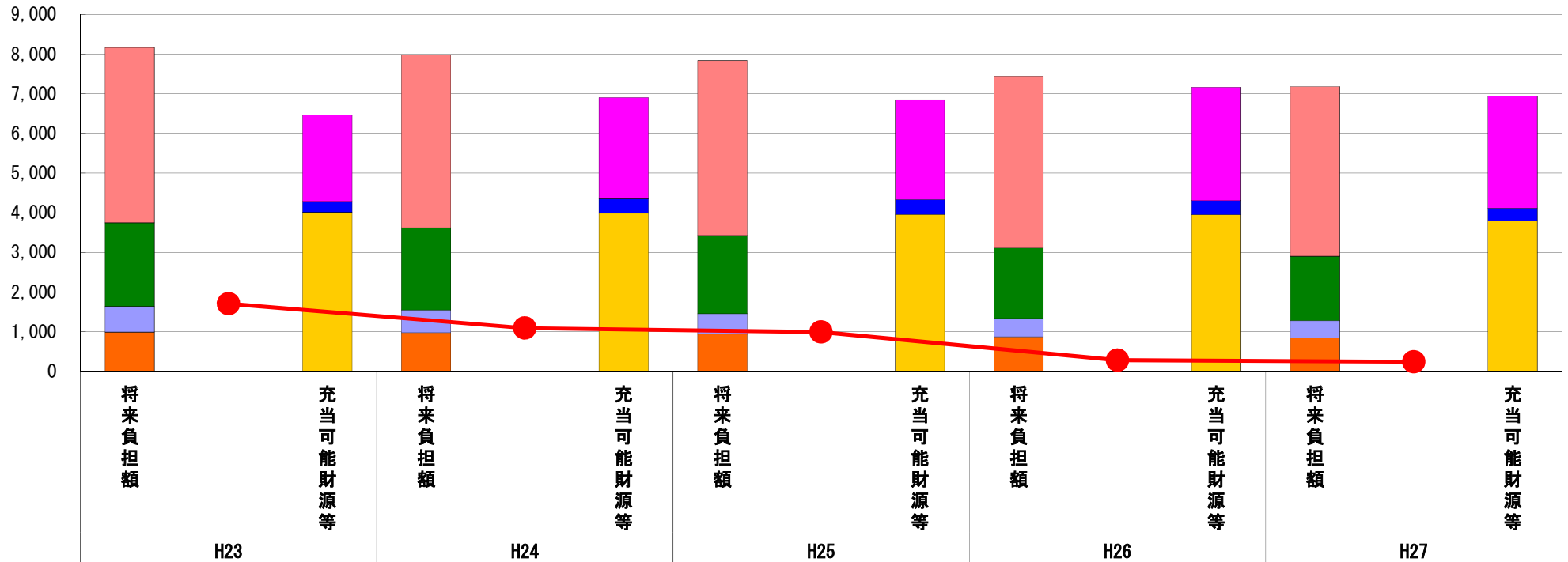


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成27年度

宮城県大郷町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H23	H24	H25	H26	H27
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		4,416	4,370	4,409	4,335	4,277
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		2,114	2,073	1,978	1,778	1,631
	組合等負担等見込額		643	572	517	462	433
	退職手当負担見込額		990	973	933	869	839
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,176	2,548	2,510	2,860	2,826
	充当可能特定歳入		277	369	377	350	312
	基準財政需要額算入見込額		4,007	3,984	3,960	3,953	3,802
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,703	1,088	989	279	240

分析欄

将来負担比率については、義務的経費の削減等による行財政改革、下水道事業における地方債繰上償還（H25実施）及び新規借入の抑制により公営企業債等繰入見込額の減少、組合等負担等見込額の減少や財政調整基金等充当可能基金の微減等により、前年度比1.6ポイントの減となった。

しかしながら、一般会計等に係る地方債の現在高で分かるように、町道改良工事に係る公債費の増加や宅地分譲事業に係る公債費の増加による公営企業債等繰入が見込まれており、より一層の財政健全化に努める必要がある。

※平成28年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。